

## 2 個別事業評価調書

団体名: 相楽郡東部じんかい処理組合

事業名		バグフィルターろ布交換工事					
事業の概要		施設内の焼却炉から排出される有毒ガス(コプラナーPCB等)やばいじんはバグフィルターにより大気に排出するのを極力抑え、環境大気の汚染防止に努めている。今回の特殊ガラス繊維で造られたろ布を張替え施設内外の環境保持に努めたい。					
		事業期間	平成20年3月6日～平成20年5月23日				
		総事業費	18,900千円	本年度事業費	18,900千円	交付金交付額	9,205千円
事業評価	事業の必要性	施設内の作業はもちろん、施設周辺地域の環境大気の汚染防止が急務である。					
	事業の有効性	施設周辺の環境保全の確保に寄与できる。					
	事業の効率性	地球規模で環境破壊が問題とされる中、当施設においても周辺住民や周辺農作物を環境汚染から守るため、少なからず寄与できた。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成(京都府山城地域振興計画記載箇所 ページ 行目) 相楽東部広域業務連携協議会(和東、笠置、南山城)との整合性を図りながら、京都府との連携協力をさらに高め、強固な体制づくりが出来た。					
		2 住民の自治意識を高める成果 環境大気の汚染は世界的にも問題とされている。施設周辺の住民も環境汚染の防止に特に関心があり、意識改革がより高められる結果となった。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果 相楽東部広域業務連携協議会(和東、笠置、南山城)との整合性を図りながら、京都府との連携協力をさらに高めることが出来た。							
5 行財政改革に資する成果 相楽東部広域業務連携協議会の枠組の中、本事業を実施することによりさらに様々な事務連携の検討、研究を行うことが出来て構成町村の費用負担の軽減につながった。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。また、表中1については、必ず、計画の記載箇所(ページ・行等)を記載すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。